

ベトナム訪問記

アナリストが見たベトナム人の生活スタイルの変化 ～現代的な小売業の拡大、居住環境の現代化～

2018年4月27日

お伝えしたいポイント

<アナリストが注目する成長ポイント>

- ・ 成長ポイント① 現代的な小売業の拡大 ～ ショッピングモール ～
- ・ 成長ポイント② 居住環境の現代化 ～ コンドミニウム ～
- ・ 【番外編】ベトナムコーヒー

2018年3月に、企業訪問に加え、ショッピングモールや大規模不動産プロジェクトを視察するためにベトナムに出張しました。今回の訪問で、ベトナムの急速な経済発展や中間所得層の拡大などを背景にベトナム人の生活スタイルが急速に変化していることを実感しました。

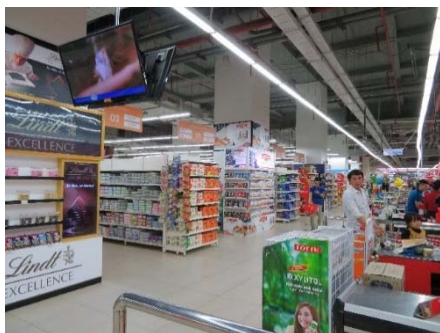
<成長ポイント① 現代的な小売業の拡大 ～ ショッピングモール ～>

ベトナム・ハノイのショッピングモール「ビンコムメガモール タイムズシティ」を視察しました。ベトナムを代表する不動産デベロッパーである「ビンググループ」が運営しています。2013年に正式オープンし、大規模不動産プロジェクトの一角を占める地下型の複合ショッピングモールです。国際的な服飾ブランドや飲食店のほか、映画館や水族館など様々なショップや施設が入居しています。

視察で訪れたのは平日の夕方であったため、人影はまばらでしたが、平日でもお昼時はビジネスマンで、夜には帰宅時の買い物客で混雑するそうです。ベトナムの経済発展や中間所得層の拡大などに伴い、現代的な小売業が急速に拡大していることがうかがえました。シンガポールや日本のショッピングモールと比較しても、遜色ないクオリティーを持っていると感じました。



▲ショッピングモール入り口
手前の池は夜になるとライトアップされます



▲ショッピングモール内の大規模スーパー



▲伝統的な小規模小売店



▲ショッピングモール内の様子

※写真は和投資信託撮影。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

<成長ポイント② 居住環境の現代化 ～ コンドミニウム ～>

ビングループがベトナムのホーチミンで大規模開発を行っている「ビンホームズ セントラルパーク」を視察しました。パーク内には数多くのコンドミニウムが建ち並ぶほか、ビングループが運営する病院や学校、そして公園などが付随した総面積40ha超に及ぶ大規模不動産開発プロジェクトです。コンドミニウムの一室を見学しましたが、内装デザインは現代的で、高層階からサイゴン川を望む景観は素晴らしいものでした。

中間所得層の拡大や都市化の進展などで、コンドミニウムなどの現代的な住居への需要は拡大していくと感じました。



◀コンドミニウムからの景色
サイゴン川を望む

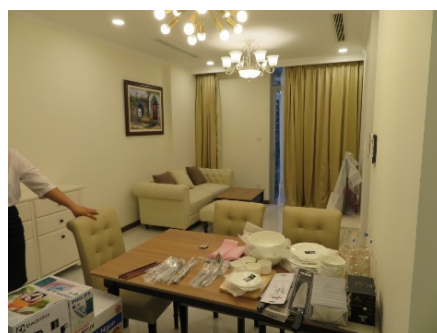


◀建設中の「ランドマーク81」
ホーチミン市中心部から撮影

また、当該プロジェクトの目玉となる「ランドマーク81」の建設が目下進行中です（2018年中に完成予定）。高さは461mで、完成すればマレーシアのペトロナスツインタワーを抜き東南アジアで最も高いビルとなる予定で、ベトナムの新たなランドマークとなることが期待されています。



▲コンドミニウムが建ち並ぶ
手前右はビングループが運営する病院



▲コンドミニウムの一室

<【番外編】ベトナムコーヒー>

あまり知られていませんが、ベトナムはコーヒー豆の生産量でブラジルに次いで世界第2位です。フランス統治時代にコーヒー文化が広まりました。伝統的なベトナムコーヒーは、フランス式の組み合わせフィルターを使って抽出し、コンデンスミルクを混ぜるのが一般的で、キャラメルのような濃厚な味わいです。

価格は街中の一般的なカフェで10,000ベトナム・ドン（約50円）程度ですが、訪れた地場の高級喫茶店では、50,000ベトナム・ドン（約250円）と先進国と変わらない値段で提供されていました。観光客だけではなく、現地のベトナム人の姿も見かけ、中間所得層が拡大していることを実感できました。



▲おしゃれな店内

以上

※写真は和投資信託撮影。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会